

平成28年度 政策づくり塾 第6回活動報告

第6回(10月28日)は、アイスブレイクとして、「私、実は〇〇なんです。」についての30秒トークから始まりました。塾生の意外な一面や特技を知ることができ、有意義なアイスブレイクとなりました。

また、塾長からアドバイスをいただいた後、各グループに分かれグループワークを行いました。

窪田塾長からのあいさつ

やりたいことは色々あるかもしれないが、1つのことを最後までやり遂げ“手ごたえ”を得ることを大切に活動を進めてほしい。



●「スマートウェルネスシティ」グループ

まずは目的を絞った方がよい。ウォーキングの内容がいくつかある場合、分かりやすい内容であれば組み合わせることも可能だと思う。

●「企業自慢」グループ

10月2日に開催された市民レビューの中で、「職場体験を複数回してほしい」「本人だけでなく親も舞鶴の企業について知ってもらいたい」という意見があった。こうした意見も参考にするとよいのではないかと。

グループワーク・発表

各々のグループで活動目的や具体的な内容について活発な意見交換を行いました。

「スマートウェルネスシティ」グループ

◇協議内容

- ▶スマートウェルネスシティを大きなビジョンとして検討を進める。
- ▶今まで歩かなかった人が歩くようになる内容、また、歩く活動の中で社会的なつながりを創出したい。
- ▶当初はマップづくりをテーマにしていたが、親子で歩く会を開くなど、地図を作ることから離れた活動になるかもしれない。

〔塾長からのアドバイス〕

スマートウェルネスシティを掲げている自治体はいくつかあるので参考にするとよい。道路を整備することなどもスマートウェルネスシティの実現に向けた取組となるが、塾活動ではできない大きな取組となるので、行動変容促進のために「歩き方講座」を開くなどしてはどうか。



「企業自慢」グループ

◇協議内容

- ▶舞鶴に存する企業にブースを出してもらい、子どもたちが就業体験するイベントを開催したい。
- ▶企業の魅力等を紹介するDVDを作成し、イベント会場で上映してはどうか。
- ▶1月22日(日)に赤れんが4号棟で催しものできないか検討中。

〔塾長からのアドバイス〕

目的とそのために何をするのか、その取組で舞鶴が盛り上がるのか、また、塾活動で実行可能かという点も含めて今後検討を進めてほしい。



～さいごに～

活動の最後に、他自治体の政策を例に、政策の「必要性」と「有効性」について議論を行い、政策の目的とそれを実現するための手段(政策)について考えました。政策を考える上では、仕掛けが上手に流れるか、筋が通っているかといったことを念頭に置くことが大切だと学びました。

グループワーク後の塾長からの講評では、両グループとも目的と手段(政策)の整合性について検討するようにアドバイスをいただきました。それぞれ活動内容を具体的に検討していく上で、塾長のアドバイスを頭に置いてグループでたくさん話し合いを重ねていきたいと思えます。